



平成29年7/18 発行 荒川区●23,000部発行 〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 ☎(3802)3111

見て、聞いて、体験しよう。 あらかわの技!

荒川区には、古くからの技術や昔ながらの材料を用いる伝統工芸技術を持った多くの職人さんが住んでいます。区では、伝統工芸の素晴らしさを広く伝えるとともに、その技術が守られるようにさまざまなサポートをしています。今号では、今年5月にオープンした「あらかわ伝統工芸ギャラリー」について紹介します。 問合せ 荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



▲つまみかざしの戸村絹代さんが、小さな絹の布片をピンセットで一つひとつ折り曲げる技を披露してくれました。「つまみかざしは江戸時代に作られるようになったものなんですよ。つまみというのは小さく布を折ることで、10種類くらいの折り方があるんです」と戸村さんが説明。熱心にその手元を見つめるジュニア記者



はかせ

5月2日に荒川ふるさと文化館にオープンした「あらかわ伝統工芸ギャラリー」は、区の伝統工芸の魅力や区内外の皆さんに知ってもらうための施設なんじゃ。ここでは、いつでも木版画や提灯文字、扇子、衣裳着人形など、実際の作品を間近で見ることができるぞ。さらに伝統工芸にもっと親しんでもらおうと、職人さんが実演をしたり、体験ができるワークショップ「あらかわ座」を毎月開いているんじゃ。どんな技があるのか、みんなも体験してみよう。



◀◀ 荒川ふるさと文化館1階に飾られている大きな提灯が自印



あらかわ区報 Jr. は荒川区ホームページでご覧になれます。
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/koho/arakawakuhojr/index.html>



次は9月に発行する予定です

夏休みは図書館へ行こう!

◆全館共通 夏休み臨時開館
日時 8月21日・28日の月曜日(午前9時30分～午後5時)
※ゆいの森あらかわは、通常通り開館

ゆいの森あらかわ
☎(3891)4349

●「しかけ絵本をつくらう!」～メッ
ゲンドルファーによるしかけ絵本
教室～
日時 7月29日(土)午後2時30分
～4時30分
場所 2階ワークショップルーム
対象 区内在住・在学、小学生以上
定員 30人(申込順)

●工作会「絵本館でトルロに変身
だ!」～「三びきのやぎのからがら
どん」～
日時 8月5日(土)午後2時30分～
4時
場所 2階ワークショップルーム
対象 区内在住・在学、5歳以上
定員 25人(申込順)

●スペシャルおはなし会「こわ～い
おはなし会」
日時 8月23日(水)午後7時～8時
場所 ゆいの森ホール
対象 区内在住・在学、小学生以下
(全年齢保護者同伴であること)
定員 30組(申込順)

町屋図書館
☎(3892)9821

●「こわ～いおはなし会」
日時 8月9日(水)、8月12日(土)、
8月30日(水)午後3時15分～3
時45分
場所 2階おはなしのへや
対象 4歳くらいから
定員 なし(申込み不要)
※参加するとようかいカードがもらえ
ます!

尾久図書館
☎(3800)5821

●エコ企画「水族館を作ろう!」
日時 8月5日(土)午前11時～11時
30分
場所 2階おはなしの部屋
対象 区内在住・在学、4歳以上(未
就学児は保護者同伴)
定員 14人(申込順)

日暮里図書館
☎(3803)1645

●「ひらいてびっくり!
ほんのむし!」
日時 8月2日(水)午後3時30分～
4時
場所 地下1階おはなしのへや
対象 4歳くらいから(未就学児は保
護者同伴)
定員 15人(申込順)

※参加費はすべて無料です
※申し込みが必要なのはすべて7月21
日(金)午前9時30分から受け付けます。
ゆいの森あらかわは1階総合カウンターま
たはホームページで、その他の図書館はカ
ウンターまたは電話にて

南千住図書館
☎(3807)9221

●科学遊び「手乗りブーメランを
作ろう!!」
日時 7月26日(水)午後3時～4時
場所 地下1階視聴覚室
対象 区内在住・在学、小学生以上
定員 20人(申込順)

●体験型おはなし会「おめでとう
しん!」おはなし会
日時 8月9日(水)午後3時～4時
場所 地下1階視聴覚室
対象 区内在住・在学、小学生以下
定員 30人(申込順)

私たちがギャラリーを紹介します!

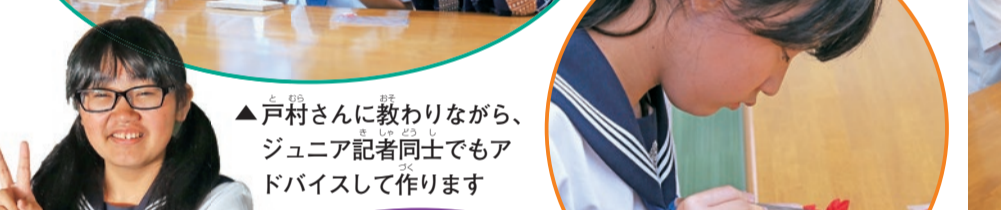


▲左から荒川区伝統工芸技術保存会・七宝焼
き職人の畠山弘さん、第五中学校のジュニア
記者・本村ももさん、高橋郁花さん、近藤芽
衣さん、つまみかんざし職人の戸村絹代さん

▲人形の頭を作る「人形頭」の技術について説明
してもらいます。伝統的な職人技に感心しきり



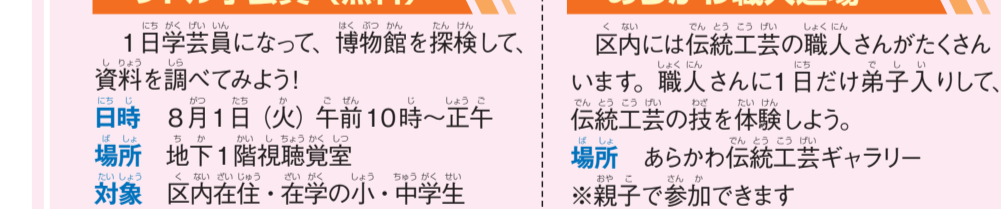
▼小さな布片をピンセットで折
るのは大変。ジュニア記者
も真剣な様子。「最初は難し
かったけど、だんだんでき
るようになって楽しかった」



▲戸村さんに教わりながら、
ジュニア記者同士でもア
ドバイスして作ります



かわいい、
パッチン留めができた



みんなで
遊びに
きてね!

荒川ふるさと文化館に集まれ! 夏休み子ども博物館

●リトル学芸員(無料)
1日学芸員になって、博物館を探検して、
資料を調べてみよう!
日時 8月1日(火)午前10時～正午
場所 地下1階視聴覚室
対象 区内在住・在学の小・中学生
定員 20人(申込順)

●あらかわ職人道場
区内には伝統工芸の職人さんがたくさん
います。職人さんに1日だけ弟子入りして、
伝統工芸の技を体験しよう。
場所 あらかわ伝統工芸ギャラリー
※親子で参加できます

●アルミ箔を使ってオリジナル
写真立てを作ろう
日時 8月8日(火)①午前10時30分～
②午後1時30分～③午後2時30分～
④午後3時30分～(①～④のいずれか
で、1回50分)
講師 栗原大地氏(額縁)
対象 区内在住・在学の小学4年生～中
学生、小学3年生以下は保護者同伴

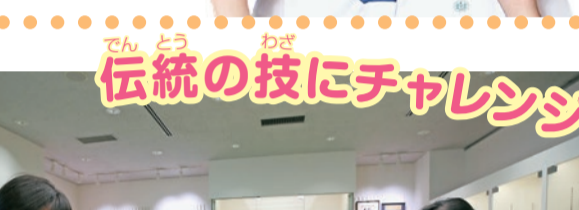
●自由に塗ったり描いたりでき
ます



▲壁に取まった額の中には、着物の小紋染めの見本や
その型紙などを展示。鮮やかな柄の見本にジュニア
記者も思わず「きれい!」と歓声。着物独特の柄
に見入っていました



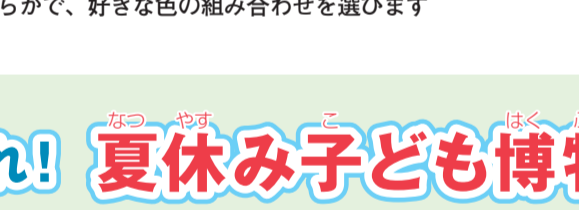
職人さんの技ってすごい!



伝統の技にチャレンジ!



▲つまみかんざしとはどのようなものか戸村さんから説明を
聞いて、髪のパッチン留め作りに挑戦。飾りは花か蝶のど
ちらかで、好きな色の組み合わせを選びます



●俳句をつくらう(無料)
「五・七・五」のリズムに乗って、オリジ
ナルの俳句を作ろう。俳句と絵を描いて、
完成した作品を持ち帰ることができます。
日時 8月23日(水)午前10時～午後3時
(昼休憩あり)
場所 地下1階視聴覚室
講師 倉澤節子氏(俳人協会会員)、市
橋洋子氏(俳人協会会員)
対象 区内在住・在学の小・中学生
定員 15人(申込順)

●親子で楽しむ展示解説(無料)
あらかわの歴史や文化をわかりやすく解
説します。
日時 7月29日(土)午後2時～3時
場所 1階展示室
対象 区内在住・在学の小・
中学生とその保護者

●親で楽しむ展示解説(無料)
あらかわの歴史や文化をわかりやすく解
説します。
日時 7月29日(土)午後2時～3時
場所 1階展示室
対象 区内在住・在学の小・
中学生とその保護者

●親子で楽しむ展示解説(無料)
あらかわの歴史や文化をわかりやすく解
説します。
日時 7月29日(土)午後2時～3時
場所 1階展示室
対象 区内在住・在学の小・
中学生とその保護者

●親子で楽しむ展示解説(無料)
あらかわの歴史や文化をわかりやすく解
説します。
日時 7月29日(土)午後2時～3時
場所 1階展示室
対象 区内在住・在学の小・
中学生とその保護者

●親子で楽しむ展示解説(無料)
あらかわの歴史や文化をわかりやすく解
説します。
日時 7月29日(土)午後2時～3時
場所 1階展示室
対象 区内在住・在学の小・
中学生とその保護者

●親子で楽しむ展示解説(無料)
あらかわの歴史や文化をわかりやすく解
説します。
日時 7月29日(土)午後2時～3時
場所 1階展示室
対象 区内在住・在学の小・
中学生とその保護者

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「同じものを何千個と作る
こともあります。お客様
が買うのは1つですから、
どれも手は抜けません。す
よ」という戸村さんの説明
にうなずくジュニア記者。
自分たちで体験してみ
て、職人さんの仕事の大変さと
技術力を感じることができ
ました。みなさんもギャラ
リーに来て、作品を見て体
験して、伝統工芸の魅力に
触れてみてください。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。



ジュニア記者が体験!

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

「さびたら研いでまた使え
るはさみや、さまざまな種
類の竹を使って作る釣針
など、昔の技術はすごいな
と驚きました」「着物の布
の柄やたんすなどは、古風
なイメージがあって、そこ
が好き。今のものとは違う
美しさがあったりいいと思
いました」と、ジュニア記
者はそれぞれの作品に思い
を寄せます。

防災部活動レポート

第五中学校
7月9日、第五中学校にて隅田
川の河川水を活用した永久水利訓
練が行われました。第五中防災
部、町会、尾久消防団など多くの
参加者が、永久水利から汲み上げた水を資機材を使って2か所の
防火水槽を経由して約500メートル離れた藍染公園まで送水。藍染
公園では、西川区長指
揮のもと、
防災部、消
防団などが
放水を実施
しました。

▲西川区長の合図後、
一斉に放水訓練が
行われました

▲第五中防災部の生徒も活躍
しました



学校訪問

部活動

第一中学校

荒川1-30-1

生徒が部活動を紹介します ソフトテニス部



▲試合に勝つぞ！女子

基本的なテニスの動きを確認するための打ち合いや、試合を想定した実践形式などを行っています。練習をしていて大切なこととしては、「試合」を意識して練習に取り組むということ。目的もなく、ただボールを打って返すことを続けるより、目的をもって、速いボールを打つため

今年度のテニス部の目標としては、区大会で勝ち残り、都大会で自分たちが納得できるテニスをするということです。そのためにも日々努力し、大会で自信をもって荒川一中の名を執筆者 部長 小川 慶悟

私たちが一男女ソフトテニス部は、男子20名、女子24名の合計44名で活動しています。活動日は、金曜日の放課後、水・木曜日の朝練、そして、土・日曜日です。練習では、ボールを使った基本的なテニスの動きを確認するための打ち合いや、試合を想定した実践形式などを行っています。練習をしていて大切なこととしては、「試合」を意識して練習に取り組むということ。目的もなく、ただボールを打って返すことを続けるより、目的をもって、速いボールを打つため

にはどのようなフォームにしたらよいか、コートのどこにどのようなボールを打ったほうが効果的かを意識して、実際に試合で生かせるように頑張っています。また、コーチや他のメンバーに自分のプレーを見てもらうことによって、弱点を自分で理解しながら練習を続けていきます。

学校自慢

汐入小学校

南千住8-2-3

学校の自慢を児童が紹介します



▲隅田川の土手で活動しています



▲校門前で校長先生があいさつ

①あいさつがよくできる 私たち汐入小学校は、「笑顔であいさつ」を心掛けています。校門の前では校長先生が、笑顔であいさつができるように、「ニコちゃんマーク」の紙を持って、あいさつをしてくれます。また、朝だけでなく、いつでも学校中にあいさつが溢れています。②在来種を守る活動 毎年5年生が、在来種を守る活動を行っています。土手の外来種を刈り、日本らしい自然である在来種を増やしていく活動です。専門家の先生にお話を伺い、自然の大切さを学びました。そして、4年生にこの活動を受け継いでい

執筆者 6年 清野 小春 蔭下 遥香

汐入小学校は、荒川区で2番目に児童数が多い小学校です。汐入小学校の自慢できることを3つ紹介します。①あいさつがよくできる 私たち汐入小学校は、「笑顔であいさつ」を心掛けています。校門の前では校長先生が、笑顔であいさつができるように、「ニコちゃんマーク」の紙を持って、あいさつをしてくれます。また、朝だけでなく、いつでも学校中にあいさつが溢れています。②在来種を守る活動 毎年5年生が、在来種を守る活動を行っています。土手の外来種を刈り、日本らしい自然である在来種を増やしていく活動です。専門家の先生にお話を伺い、自然の大切さを学びました。そして、4年生にこの活動を受け継いでい



▲15周年の横断幕 きます。③15周年 汐入小学校は、6月10日に15周年を迎え、全校児童が参加して15周年をお祝いする「15周年お祝い集会」が開かれました。汐入小学校の歴史をクイズやスライドで学びました。この集会でさらに汐入小学校の色々なことに

七峡小に宇宙飛行士・山崎直子さんがやってきました!

6月29日、第七峡田小学校に宇宙飛行士の山崎直子さんが来校。「宇宙そして夢」と題して、子どもたちに話をしてくれました。



▲貴重な写真とともにお話をする山崎さん

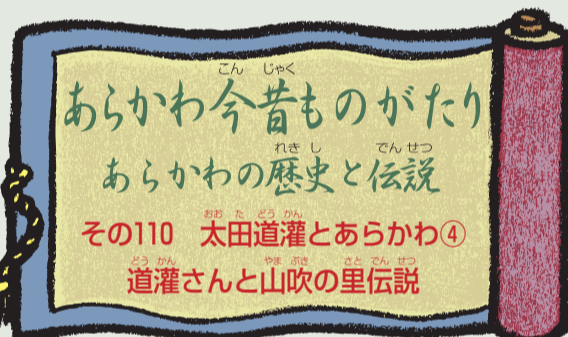
食べ物や服装など宇宙飛行士の生活の様子や宇宙から見た景色、一緒に宇宙飛行をした仲間たちのことなど、自分たちが経験したことがないお話に、子どもたちは驚きの声を上げていました。「このお話を聞いたことがきっかけで、未来の宇宙飛行士が出てきてくれたらうれしい」と、山崎さんはメッセージを贈りました。



▲代表の児童から花束が手渡されました



▼七峡小全校児童が山崎さんのお話に感嘆していました



鷹狩り大好き道灌さん

室町時代に江戸城を築いた太田道灌さんも、鷹狩りが大好きだったんだってさ。ところで、道灌さんは、どこで鷹狩りをしたのかな？ 何々、日暮里に銅像があるから、諏訪台や道灌山の辺りじゃないかって？ いやいや、そうではないんだ。道灌さんが鷹狩りに訪れたのは、お友だちの木戸孝範さんが庵を結んでいた辺り。そうそう三河島だね。この頃の三河島には、大きな入江があって、芦の原っぱが広がっていたというから、たくさん野鳥や獣がいただろうね。

山吹の里伝説

道灌さんの鷹狩りには、こんなお話が伝わっているんだ。ある日、道灌さんが鷹狩りをしていたら、急に強い雨が降ってきた。困った道灌さんは、近くの農家に立ち寄り、

高島三左衛門という人が住んでいて、その娘さんが道灌さんに、山吹の枝を差し出したんだってさ。だから、花の木を「山吹の里」と呼ぶんだって(『三河島町郷土史』)。「山吹の里」には、荒川七丁目の泊船軒、豊島区高田、埼玉県入間郡越生町など、各地に候補地があるんだ。今度、あらかわの歴史にとって大切な道灌さんについてもっと調べてみてね。

花の木の高島三左衛門の娘

昔、三河島一帯は、道灌さんの鷹狩りの場所に指定されていたんだってさ。その頃、花の木(荒川六丁目)の辺りに、



▲荒川ふるさと文化館蔵「江戸名所図会」

第10回 柳田邦男絵本大賞

絵本への想いを手紙で届けてください。

対象 区内在住・在勤・在学の方

募集期間 9月29日(金)まで

募集部門 子どもの部(中学生以下)…400~800字程度

※一般の部もあります

応募・問合せ 〒116-0002荒川区荒川2-50-1 ゆいの森あらかわ 柳田邦男絵本大賞事務局 ☎(3891)4349

※詳細はお問い合わせください

※持参の場合は、各区立図書館へ(休館日を除く)